

個別事業説明書【PR版】

農 林 水 産 部



1 米麦乾燥調製施設等燃料高騰対策支援事業費

令和8年度9月補正予算（案）
予算額 21,315千円

燃料価格の高騰が長期化する中、米麦生産者の乾燥調製費用の負担軽減を図るとともに、米麦産地における高品質生産体制の維持に欠かせない共同利用施設の燃料経費の一部を支援する。

お問い合わせ先
農林水産部農業振興局
農産園芸課
(089-912-2565)

指標

施策

17 農林水産業の生産振興

KGI 農業産出額

現状値 1,337億円（R6年）

目標値 1,200億円（R8年）

細施策

17-4 農業の生産振興

KGI 主な農産物の生産量（各振興計画に記載のある主要品目）

現状値 315千t（R7年度）

目標値 338千t（R8年度）

事業イメージ

KPI

事業に取り組む米麦生産者の営農継続率
（対象者の営農継続100%を目指す）

現状値 -
目標値 100%（R8年度）

【現状と課題】

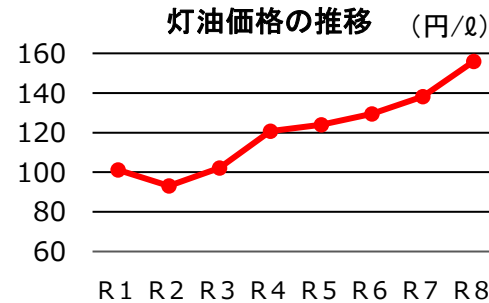
米麦生産における燃油は・・・

保存性を高め商品として流通させる乾燥作業に不可欠
生育不良や病害の無い良質の苗生産に不可欠

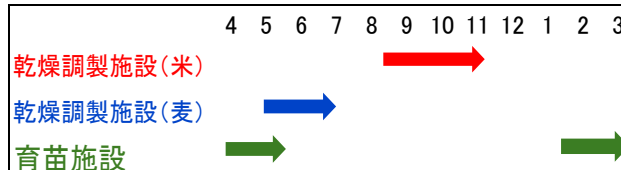
燃油については近年価格が上昇

米麦生産者は・・・
規模の大きい生産者は使用量が多く
経営負担が増加

共同利用施設は・・・
燃油使用量の抑制は
品質低下に直結
費用の増加分は利用者負担に



施設の利用時期

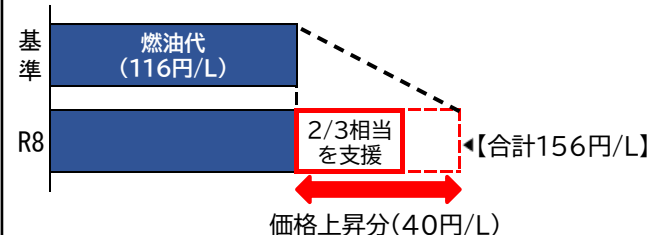


【対策】

燃油の価格上昇分に対する支援により生産者の経営安定を図る

燃料価格が基準を上回った場合に、価格上昇分の2/3相当額を支援

【共同利用施設】



【米麦生産者】

項目（10a当たり）	金額・数量
燃油使用量	11.25リットル
燃油代（基準）116円/L①	1,305円
燃油代（R8）156円/L②	1,755円
価格上昇分 ②－①	450円
価格上昇分の2/3相当(300円)を支援	

事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

米麦乾燥調製施設等燃料高騰対策支援事業

21,315千円

1 米麦生産者向け支援 14,615千円

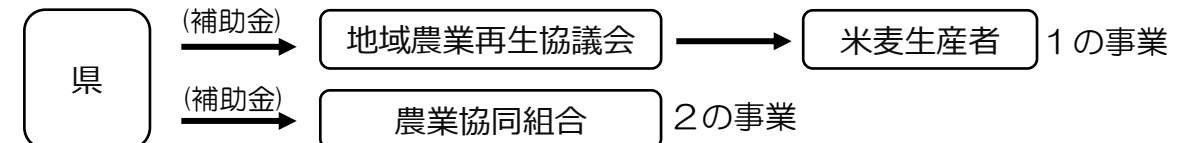
- 事業主体 地域農業再生協議会
- 事業実施主体 令和8年産水稻・麦の作付面積が10ha以上の生産者
- 事業内容 ①米麦生産者の乾燥施設において使用する燃油のうち価格上昇分を支援（14,460千円）
②地域農業再生協議会事務費（155千円）

（4）補助率 ①定額（10a当たり300円（上昇分の2/3相当額））、②定額

2 共同利用施設向け支援 6,700千円

- 事業実施主体 農業協同組合
- 対象施設 乾燥調製施設、育苗施設
- 事業内容 令和8年4月から令和9年2月の間に購入した燃油のうち価格上昇分（1キロリットル当たり4万円）を対象に支援
- 補助率 2/3以内

3 スキーム



お問い合わせ先
農林水産部農業振興局
農産園芸課
(089-912-2565)

指標	施策	17 農林水産業の生産振興	現状値	1,337億円（R6年）
		KGI 農業産出額	目標値	1,200億円（R8年）
	細施策	17-4 農業の生産振興	現状値	315千t（R7年度）
		KGI 主な農産物の生産量（各振興計画に記載のある主要品目）	目標値	338千t（R8年度）

事業イメージ

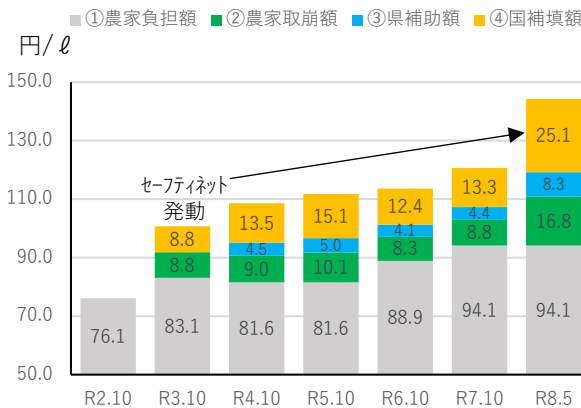
KPI

施設園芸セーフティネット構築事業への加入件数 (セーフティネット構築事業への加入件数の維持を目指す)	現状値 65件 (R8.7時点)
	目標値 65件 (R8年度)

現状値	65件 (R8.7時点)
目標値	65件 (R8年度)

施設園芸セーフティネット構築事業では、燃料価格が基準を上回った場合に、国と農業者が1：1で積み立てた資金から補填金を交付しているが、価格高騰の長期化等が農家経営を圧迫していることから、県はR4.10から継続して追加支援。

燃料価格における構成比の推移

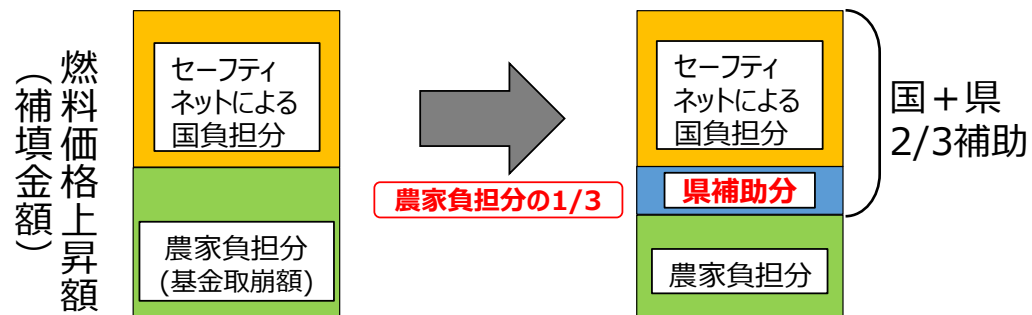


燃料価格は右肩上がり
国・県は支援しているが、
農家負担総額は年々増加

農家經營
を圧迫

年月	燃料価格 (円/ℓ)	①+② 農家負担 総額 (円/ℓ)	③ 県補助額 (円/ℓ)	④ 国補填額 (円/ℓ)
R5. 10	111. 8	91. 7	5. 0	15. 1
R6. 10	113. 6	97. 2	4. 1	12. 4
R7. 10	120. 6	102. 9	4. 4	13. 3
R8. 5	144. 3	110. 9	8. 3	25. 1

価格高騰に備える農家の負担軽減を図り、持続可能な施設園芸の推進が必要



事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

施設園芸燃料高騰対策支援事業

3,901千円

1 事業対象者

国の令和8事業年度施設園芸セーフティネット構築事業加入者

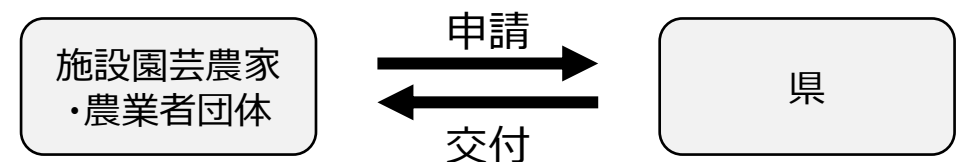
2 事業内容

令和8年10月～12月の間にA重油等燃料価格の高騰により、セーフティネット構築事業が発動した場合の農家積立金取崩額相当分の1/3以内を補助

3 採択要件

国の令和8事業年度施設園芸セーフティネット構築事業加入者のうち、BCPの推進など持続可能な施設園芸に向けた取組みを令和8年4月～令和9年3月に実施する（した）者

4 スキーム

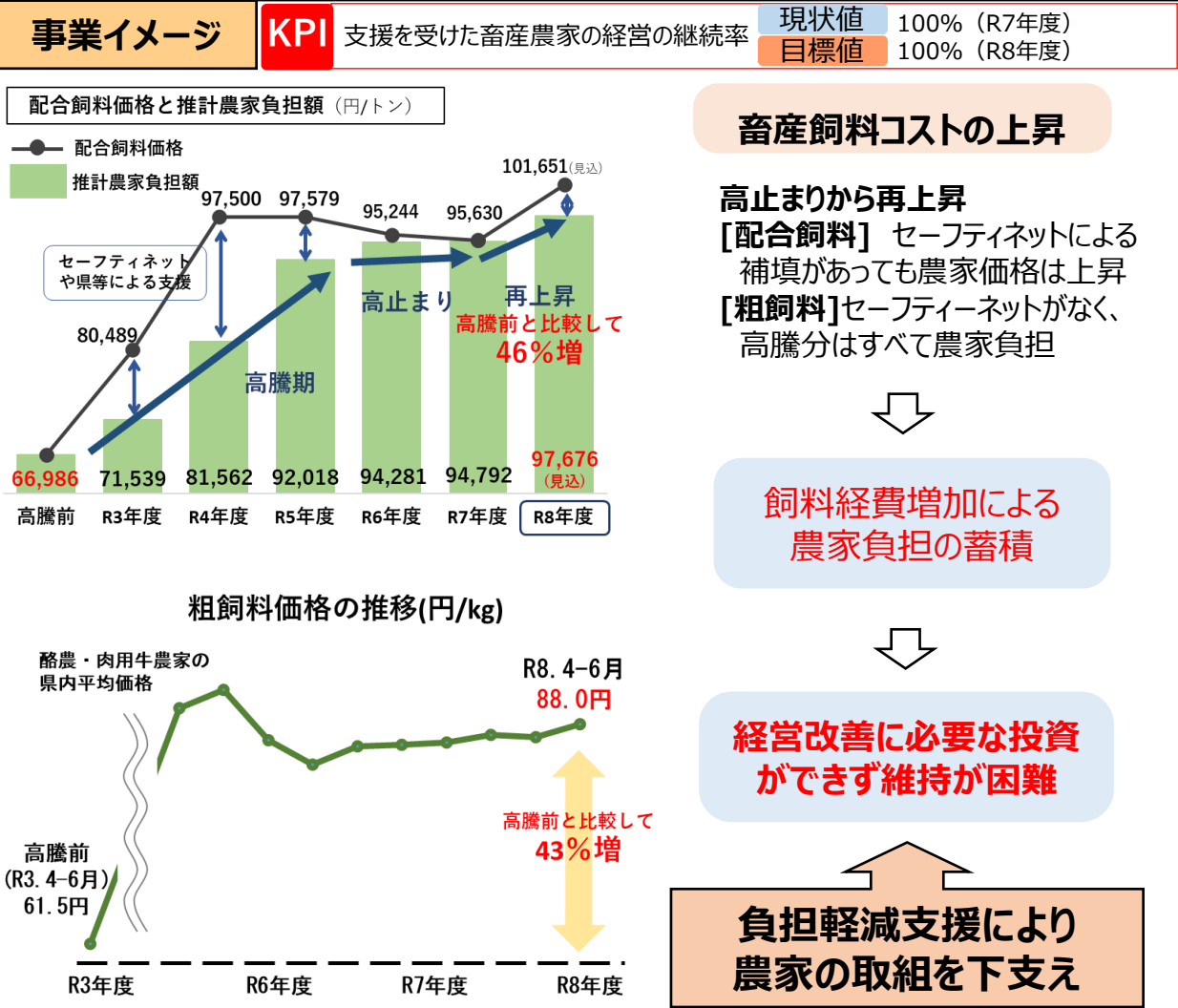


3 酪農・畜産飼料価格高騰対策支援事業費

畜産経営に欠かすことのできない飼料価格の高騰により厳しい経営状況が続き、経営存続が危ぶまれることから、本県畜産基盤の維持のため、国産飼料の利用拡大や生産性向上等に継続して取り組む意欲ある畜産農家の飼料経費の一部を補助する。

お問い合わせ先
農林水産部農業振興局
畜産課
(089-912-2575)

指標	施策	17 農林水産業の生産振興 KGI 農業産出額	現状値 1,337億円（R6年） 目標値 1,200億円（R8年）
	細施策	17-5 畜産の生産振興 KGI 家畜（牛、豚、鶏）の飼養頭羽数	現状値 2,948千頭羽（R7年度） 目標値 3,083千頭羽（R8年度）



事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

1 畜産配合飼料価格高騰対策支援事業（配合飼料対策） 262,125千円

【事業主体】 県内畜産農家が加入する基金団体

【対象者】 配合飼料価格安定制度加入者

【取組要件】 生産性の向上などの取組を実施すること

【支援内容】 配合飼料価格の増加分の1/2相当額（定額）を支援
配合飼料 1トンあたり1,400円
（配合飼料価格安定制度のR8年度第1～3四半期の契約数量を上限）

2 酪農・肉用牛農家生産支援事業（粗飼料対策） 126,328千円

【事業主体】 団体（県酪連他）

【対象者】 酪農家、肉用牛農家

【取組要件】 粗飼料自給率の向上などの取組を実施すること

【支援内容】 畜種ごとの粗飼料経費の増加分の1/2相当額（定額）を支援
搾乳牛：22,000円/頭、肉用繁殖牛：10,000円/頭
肉用肥育牛：6,600円/頭
（R8年4～12月の購入量相当が対象）

《スキーム》

```
graph LR; A[県] -- 申請 --> B[団体<br/>(事業主体)]; B -- 交付 --> A; B -- 申請 --> C[畜産農家]; C -- 交付 --> B;
```

4 林業省力化機械等導入支援事業費

物価高騰の影響により厳しい経営を強いられている県内林業事業体や林産物生産事業者等に対し、経営の安定化や事業継続を図るため、省力化につながる取組を支援する。			お問い合わせ先 農林水産部森林局 林業政策課 (089-912-2585)	
指標	施策	17 農林水産業の生産振興	現状値	577億円（R5年）
		KGI 林業・木材産出額	目標値	430億円（R8年）
	細施策	17-6 林業の生産振興	現状値	637千㎡（R6年度）
		KGI 県産材生産量	目標値	700千㎡（R8年度）

事業イメージ

KPI

支援を受けた林業事業体等の作業省力化率
（直近3年の林業就業者数減少率（-8.7%）の人役）
（相当分をカバーする水準を目指す）

現状値 -
目標値 10%（R8年度）

現状

物価・資材高騰の影響

- 物価や人件費の高騰により事業者の経営が圧迫される中、機械価格も高騰しており、機械の更新等が停滞
- 老朽化に伴う機械修繕費の増加や人口減少による労務不足により、収益が上がらず、更に事業体の経営を圧迫

そこで

作業の省力化に資する機械等の導入を支援

プロセッサ導入



・作業員の負担軽減
・木材生産の省力化

フォワーダ更新



・運搬作業の省力化
・機械修繕費の削減

経営基盤の強化

- 省力化により作業員の負担軽減、人手不足へ対応
- 修理作業に要する時間や機械修繕費、維持管理費の節減
- 県内林業事業体等の**安定的・持続的な事業の継続**

⇒ **林業・木材産業の成長産業化の実現**

事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

林業省力化機械等導入支援事業

40,000千円

1 事業内容

省力化に資する林業機械や生産施設等の導入に係る支援
【対象経費】省力化機械等の導入
（木材伐出機械等（プロセッサ、フォワーダ 等））

2 補助対象者

森林組合、林業事業体、林産物生産事業者 等

3 採択要件

- 国庫補助の対象とならないこと
- 従来型の機器よりも10%以上の省力化が図られるものであること

4 補助率

1/2 以内（上限20,000千円）

県

申請・計画

事業者

補助

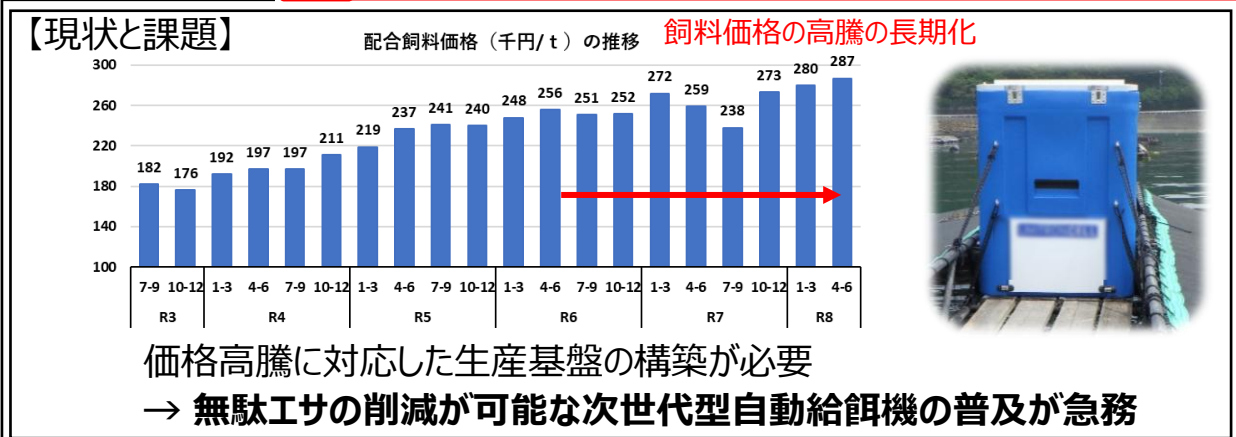
5 次世代型自動給餌機導入拡大事業費

飼料価格の高騰により経営が圧迫されている魚類養殖業者においては、飼料コストの低減が必須であるため、効率的な給餌により無駄エサの削減が可能な次世代型自動給餌機導入に係る費用の一部を補助する。

指標	施策	17 農林水産業の生産振興	現状値	1,153億円（R6年）
		KGI 漁業産出額	目標値	900億円（R8年）
	細施策	17-7 漁業の生産振興	現状値	130千t（R7年度）
		KGI 漁業生産量	目標値	143千t（R8年度）

お問い合わせ先
農林水産部水産局
水産課
(089-912-2615)

事業イメージ	KPI	支援対象養殖業者の飼料コストの削減率 （R4.6補正の実績である7%を目指す）	現状値 6.4%（R7年度） 目標値 7%（R8年度）
--------	-----	--	--------------------------------



【これまでの成果】

県が独自に次世代型自動給餌機の導入支援を実施

（R4.6補正、R6.2補正、R7.12補正）

- ・効率的な給餌の実現による無駄な餌の削減
→ 計140台の導入支援（約6.4%の無駄エサ削減）
- ・普及率が大幅に向上
→ R6年：12%
R7年：24%
- ・飼料コスト削減による魚価経営の安定

事業概要	【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】
次世代型自動給餌機導入拡大事業	10,253千円

- 1 補助対象
県内において魚類養殖業を営む者
次世代型自動給餌機を新たに導入しようとする県内魚類養殖業者で、事業経費削減による経営改善に取り組む者
※事業規模 次世代型自動給餌機20台
- 2 対象経費
AI搭載型自動給餌機、IoT型自動給餌機、自発摂餌式自動給餌機及び設置費用
- 3 補助率
次世代型自動給餌機導入に係る費用（本体・設置費）の3分の1以内

